

2020

Vol. 1

ゆりかご

NPO法人とくしまコウノトリ基金活動レポート



contents

- 1 「ゆりかご」の創刊にあたって
- 2 コウノトリの現状
- 4 STORK NEWS
- 6 コウノトリの餌場を増やすプロジェクト
- 8 地域を元気にするプロジェクト
- 9 賛助会員

徳島県では、鳴門市を中心にコウノトリの飛来数が増え、2017年から4年連続で繁殖に成功しています。この地でのコウノトリの定着と繁殖は順調に見えますが、繁殖しているのはわずかに1ペアだけです。また、西日本では日本海側には繁殖地が少しずつ広がりを見せていますが、太平洋側では鳴門だけです。この地域に第二、第三の繁殖ペアを誕生させ、安定した繁殖地、生息地とすることで、一度は日本の空から姿を消したコウノトリの野生復帰の実現を目指します。また、コウノトリとの共生を進めるなかで、地域をより元気にするような活動を進めてまいります。



NPO法人とくしまコウノトリ基金
理事長 熊谷 幸三

「ゆりかご」の創刊にあたって

NPO法人とくしまコウノトリ基金は、2019年8月29日に法人登記をし、9月から活動を開始したばかりですが、たくさんの団体、個人の皆さまからのご賛同とご支援を頂きました。心より感謝申し上げます。2020年6月現在、会員数は団体、個人を合わせて約170に達し、短い期間で様々な活動を行うことができました。

当基金の活動を会員の皆さまをはじめ多くの方々に知って頂くために、この「活動レポート ゆりかご」を創刊しました。「ゆりかご」はコウノトリの野生復帰に欠かせない豊かな生態系をイメージして名付けたものです。

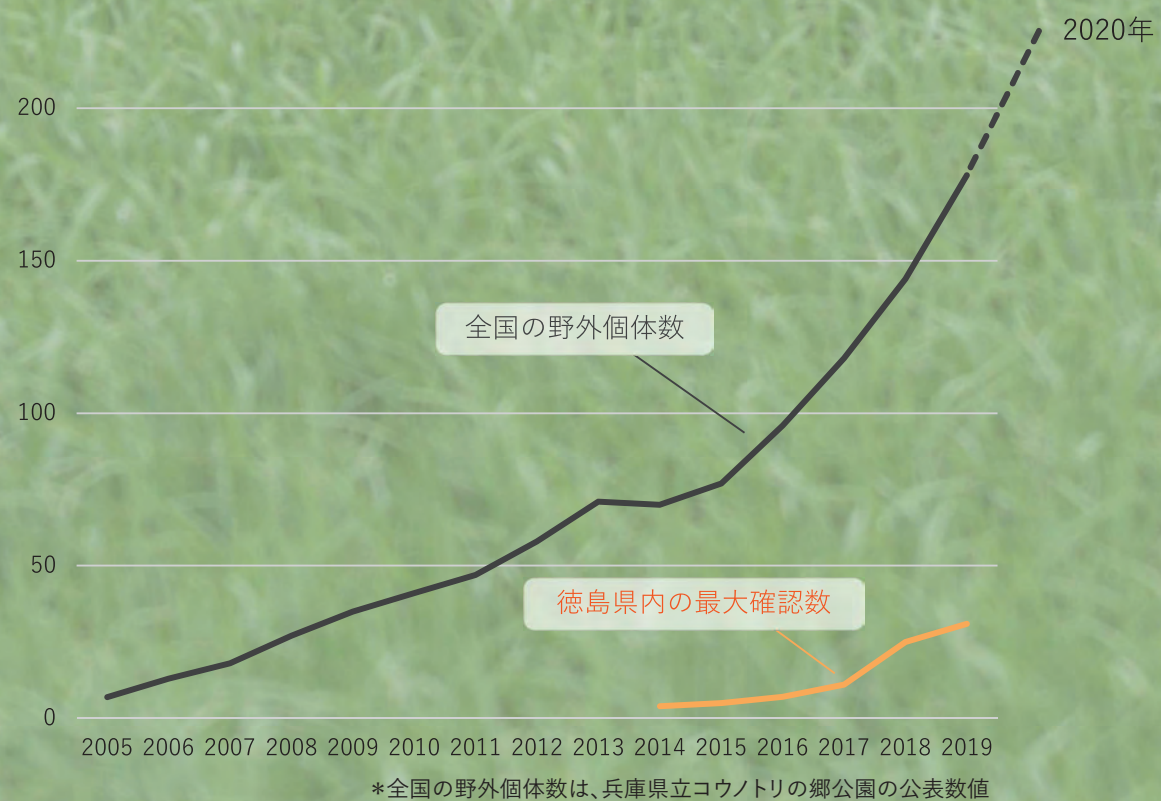
今年は新型コロナウイルスが日本にも暗い影を落としています。コウノトリは鳴門生まれの「歌」が東日本では野生絶滅後初めて産卵・孵化に成功し、鳴門でも4年連続で巣立つなど、明るい話題をもたらしてくれています。コウノトリの野生復帰の歩みとともに、日本じゅうが元気になって行くことを願ってやみません。

会員数（2020年6月）
賛助会員111（団体88 個人23）
協力会員46 正会員11 計168



2005年、兵庫県立コウノトリの郷公園が放鳥を開始。2007年には野外での繁殖が始まりました。放鳥の継続と野外繁殖の増加で、野外に生息するコウノトリは順調に増えており、2020年には200羽を超えると見込まれています。

徳島県では、2013年頃から飛来し始め、2015年には長期滞在する個体が現れ、鳴門板東ペアが定着。飛来個体数も増え続け、2019年秋には最大31羽になりました。



2007年、兵庫県豊岡市で野生絶滅後初めて野外繁殖が成功し、豊岡市周辺で繁殖ペアが増えていきました。

そして、2017年、豊岡市周辺以外では初めて、鳴門市で繁殖に成功。その後少しずつ繁殖地が増え、2019年には6府県、15カ所で巣立ちに成功しました。

2020年は、鳴門生まれの歌が栃木県で営巣し、繁殖地は7府県に増えました。兵庫県立コウノトリの郷公園によると、6月中旬現在24カ所で巣立ちまたは巣立ち前のひなが確認されています。

2020年の繁殖地
(6月中旬現在、巣立ち、巣立ち前のひな)



徳島県鳴門市大麻町の「鳴門板東ペア」は2017年から4年連続で計11羽の子どもを育てあげました。この中には、不幸にも事故で死亡したり、消息が長期間わからない個体もありますが、2020年6月現在、8羽が県内外を飛び回っています。これからも徳島県生まれの子たちが日本中に広がり、コウノトリの野生復帰を実現させてくれるでしょう。

鳴門生まれのコウノトリの近況（2020年6月中旬時点）				
生まれ年	個体番号	性別	愛称	居場所等
2017	J0140	♂	蓮（れん）	2020年4月香川県で事故死
	J0141	♂	なる※	不明（2020年4月下旬鳴門市で確認）
	J0142	♀	あさ	2018年2月鳴門市で事故死
2018	J0181	♀	歌	栃木県小山市で子育て中
	J0182	♀	百（もも）	2018年11月から消息不明
	J0223	♀	藍	2020年6月上旬 兵庫県丹波篠山市
2019	J0224	♂	令	鳴門市
	J0225	♀	和（かず）	鳴門市
	J0278	♂	渦	鳴門市
2020	J0279	♀	めい	鳴門市
	J0280	♂	海（かい）	鳴門市

※ なる：2020年6月下旬に京都府京丹後市、兵庫県豊岡市で確認されています。

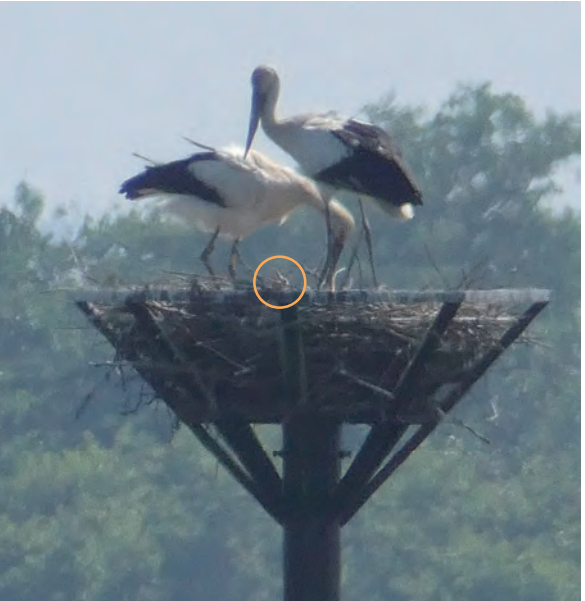


巣立ち 2020年6月16日
観察カメラ（無人の固定カメラ）の映像から

● 歌にひなが誕生

歌（J0181、メス、2018年鳴門生まれ）は、栃木県小山市でひかる（J0128、オス、2016年千葉県野田市生まれ）とペアになり、2020年6月上旬にひなの姿を確認しました。ひなは少なくとも2羽確認されました。

満2歳のメスが産んだ卵が孵化したのは初めての記録であり、野生絶滅後、東日本での繁殖も初めてです。



歌（左）・ひかるのペアとひな 小山市提供

● 巣立ち

2020年6月16日、J0278オス（渦）、J0279メス（めい）、J0280オス（海；かい）が、巣立ちました。

3月28日の孵化推定から80日目。この巣の巣立ちとしては、これまでで最も長くかかりましたが、3羽とも元気に育っています。

親鳥の鳴門板東ペア（J0044オス：ゆうひ、J0480メス：あさひ）は2017年以来4年連続、計11羽を巣立たせました。



● 足環装着

2020年5月8日、足環装着プロジェクトチームが、孵化後41日目の3羽のひなに足環を装着。2017年以来4回目となる今回は、兵庫県立コウノトリの郷公園からの要員派遣を得ず、初めて県内メンバーだけで実施しました。コウノトリ基金は、装着のための調査、情報の収集分析、技術研修などを担当しています。

ひなの個体別データ					
個体番号	性別	足環		体重(g) 5月8日計測	愛称
		右	左		
J0278	オス	黄	青	3,695	渦(うず)
J0279	メス	黄	緑	2,995	めい
J0280	オス	黄	黒	3,635	海(かい)



● コウノトリ巣作り体験ワークショップ

2019年12月15日、とくしま動物園北島建設の森で、実物に近いコウノトリの巣をつくりました。完成後は、巣の上になり、記念写真を撮りました。

この巣作りワークショップは2020年11月末に開催されるととくしまマルシェでも実施予定です。



トンボ観察会 2019年10月20日 鳴門市大麻町



● 観察会

トンボとコウノトリの観察会を行いました。

トンボの観察会では、専門家を講師に招き、トンボの生態について学んだり、実際にヤゴを捕まえたりしました。

コウノトリの観察会では、参加者全員がコウノトリをゆっくりと観察できました。



コウノトリ観察会
2019年11月23日 鳴門市大津町



● さわれる剥製

日本では珍しい触れることができるコウノトリの剥製（はくせい）を制作しました。この個体はJ0252、2019年兵庫県生まれのオスで、2019年に鳴門市で送電線に衝突して死亡しました。

この個体の死を無駄にすることなくイベント等で活用するほか、公共施設などでの展示や貸し出しを予定しています。



● ロゴステッカー
くるみボタンマグネット



直径113mm



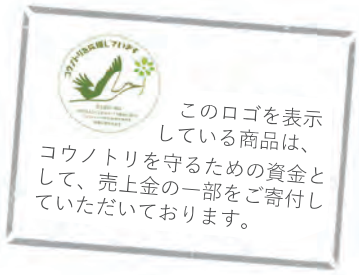
直径38mmと27mm

会員やご寄付頂いた皆様にお配りし、コウノトリ基金のPRのために使っています。

● 売上からご寄付をいただく商品



コウノトリれんこん
(JA徳島北、こうのとり農産)



このロゴを表示している商品は、コウノトリを守るための資金として、売上金の一部をご寄付していただいております。



トートバック
(鳴門西ライオンズクラブ)



れんこん用肥料
(丸喜商店)



れんこんとコウノトリ

化学農薬の使用量が少なく、ほぼ一年中、浅く水を張って管理するレンコン畑は、餌となる水生動物が豊富で、かつ餌を取りやすく、コウノトリにとって最高の餌場です。しかし、夏にはレンコンの茎や葉で覆われてしまうため、餌が取りにくくなります。そこで、夏でも餌が取りやすいビオトープの整備を進めています。

ビオトープの整備、管理に要する費用は、会員の皆さまからの会費のほか、「一般財団法人日亜ふさと振興財団」の助成金を活用させて頂いています。

2019年までのビオトープ整備

鳴門市大麻町で2カ所、計約70アールのビオトープを作り、管理しています。いずれもコウノトリが餌場として利用しています。



2020年からのビオトープ整備 ～休耕田を再生～

近年増加傾向にある休耕田や耕作放棄地を再生して、ビオトープ作りを進めます。このうち2020年6月までに約33アールが完成。魚やトンボを増やす技術の実証実験も行います。



整備前 イグサやガマが生い茂っていました



ハンマーナイフモアと刈り払い機で草刈り



バックホーでイグサの株と根を掘り上げ



トラクターとバックホーで何度も耕耘、整地



着手後3週間かって水を張れる状態に



看板を立てて完成！



魚の増殖技術の実証実験として、用水路で採取した魚の卵と、孵化させた稚魚約1200匹をビオトープに入れました。

生き物調査

希少な植物や動物の調査を徳島大学と共同で実施します。

調査結果を使って、コウノトリの生息環境にすんでいる生き物図鑑を作る予定です。



音声記録装置
音声データを解析し両生類や鳥類の生息状況を調べます。



水生動物を増やす

用水路に産卵床を設置し、産卵を確認したらビオトープなどに入れます。一部の卵は水槽で孵化させ、稚魚をビオトープに放流するなど、水生動物を増やす実証実験を行っています。



水田に設置した水生動物を守るシェルター



水路に産卵床を設置



産卵床についた卵

※これらの調査や実証実験は「トヨタ環境活動助成プログラム」の支援を受けています。



❁ ビオトープ米でお酒を造るプロジェクト

日本酒ファンに、コウノトリの野生復帰や生物多様性、環境保全型農業に興味を持ってもらうことを目的に、地元の酒蔵である本家松浦酒造場さんとコラボ。
化学合成の農薬と肥料を減らし、水田で生き物を増やす技術の実証実験をしながら栽培したお米で清酒を造って販売。収益の一部をご寄付頂くというプロジェクトです。
2020年4月下旬に田植えをし、稲は6月現在順調に育っていて、8月中旬には収穫予定。年末か来年のはじめには、美味しいお酒を販売する計画です。

※このプロジェクトは「一般財団法人日亜ふるさと振興財団」の支援を受けています。



❁ 旧吉野川の自然再生

コウノトリの餌場になるような湿地環境づくりを目指す国土交通省の自然再生の取組に参画します。

国土交通省資料



❁ エコツアー

吉野川流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク（国土交通省）と連携し、地域の自然や産業、文化を活用したエコツアーのビジネスモデルづくりを目指します。



エコツアーの試行 2019年12月1日（れんこん掘り取り体験）

企業・団体

徳島北農業協同組合
大久保産業株式会社
株式会社阿波銀行
四国放送株式会社
JA徳島中央会
JA共済連徳島
四国建設コンサルタント株式会社
徳島市農業協同組合
菊池産業株式会社
公益財団法人徳島県勤労者福祉ネットワーク
社会医療法人川島会
株式会社姫野組
社会福祉法人白寿会
日本野鳥の会徳島県支部
有限会社丸喜商店
株式会社寺内製作所
公益社団法人徳島県物産協会
医療法人倚山会田岡病院
株式会社ときわ
徳島県漁業協同組合連合会
東海運株式会社
富田製菓株式会社
徳農種苗株式会社
恵愛レディースクリニック
株式会社徳島四国ダイケン
株式会社徳松
徳島県経営者協会
ケーブルテレビ徳島株式会社
港産業株式会社

大津松茂農業協同組合
徳島県中小企業団体中央会
公益財団法人とくしま産業振興機構
一般財団法人徳島県観光協会
JA全農とくしま
JA徳島厚生連
一般社団法人徳島県建設業協会
国立大学法人徳島大学
株式会社フジタ建設コンサルタント
健祥会グループ
コウノトリ定着推進連絡協議会
斎徳株式会社
徳島信用金庫
四国高速運輸株式会社
有限会社八木土建
株式会社エコ建設コンサルタント
総合ビル・メンテム株式会社
四国電力株式会社徳島支店
大利木材株式会社
株式会社アワタ
板野郡農業協同組合
徳島県建設業協会鳴門支部
徳島トヨペット株式会社
株式会社テレビ鳴門
株式会社中岸商店
光設計株式会社
徳島県森林組合連合会
東とくしま農業協同組合
徳島製材団地協同組合

徳島県県民環境部幹部会
新風とくしま
一般社団法人徳島新聞社
徳島商工会議所
JAバンク徳島信連
徳島県信用保証協会
株式会社松本コンサルタント
阿波観光ホテル
こくみん共済coop徳島推進本部
株式会社 徳島大正銀行
喜多機械産業株式会社
一般社団法人徳島県労働福祉会館
株式会社マルハ物産
株式会社 ヨシミ
株式会社ネオビエント
ニタコンサルタント株式会社
徳島県医師会
四国電力送配電株式会社徳島支社
森田緑化株式会社
四国大学
赤松土建株式会社
株式会社イルローザ
株式会社アルボレックス
一般社団法人徳島経済同友会
四国旅客鉄道株式会社
井上建設株式会社
野田ハニー食品工業株式会社
国立大学法人鳴門教育大学
株式会社三木組

* 入会順、敬称略

個人

布川 洋之 安井 俊之 戸田 文博 小笠原 章 小松 喬一 八尾 和樹 仲田 優晴 北岡 和義 梶川 寿幸
熊谷 美智子 藤原 学 阿部 徳男 松島 興夫 松島 和子 仁木 祐佳 森 裕二 横関 博美

❁ SNS はじめました



とくしまコウノトリ基金の活動やイベント案内はもちろん、コウノトリの最新情報もお届けします！

❁ ご支援、ご入会をお願いします

NPO法人とくしま コウノトリ基金は、たくさんの個人や企業、団体の皆様の支えがあって、活動を展開することができます。
賛助会員、協力会員としてご参加いただき、ご支援をお願いいたします。



入会方法など
とくしまコウノトリ基金HP



特定非営利活動法人

とくしまコウノトリ基金

Non-Profit Organization Tokushima Stork Fund

〒771-0203 徳島県板野郡北島町中村字岸ノ上 1-288

TEL.090-2825-6721 E-mail info@t-stork.jp

<https://www.t-stork.jp>

この冊子は「令和2年度 環境で地方を元気にする地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業」を活用して作成しました。